

# ニヘーデービル!

(沖縄の方言・ありがとう)



## 上原清善さん



平成17年、上原さんを訪ねた葛巻町の中学生たち

### 上原清善さんの当町に対する厚意年表

年 月	内 容
昭和52年5月	太平洋戦争において戦友だった当町名前端出身の故向敷世知男さんの遺骨をフィリピンで収集、遺族のもとへ手渡す
昭和53~57年	町社会福祉協議会に対して4回、計110万円寄付
昭和58年5月	沖縄親善訪問団(琉球舞踊公演)を当町に派遣
昭和58年11月	沖縄市に町長、民間団体10名を感謝状受賞200枚記念祝賀会に招待
昭和59年12月	町に対し図書購入費として100万円寄付
昭和60年6月	公民館に熊の剥製を寄贈
昭和60年7月	町に対し図書購入費として20万円寄付
昭和60年8月	葛巻町青少年健全育成等の資金として1,000万円を寄付(上原清善青少年健全育成等基金を設立) 沖縄県北中城村の野球スポーツ少年団(安谷屋ライオンズ)を当町に派遣、交流試合や交流会を行う
昭和60年11月	沖縄友好親善交流資金として町に対し50万円寄付
昭和61年1月	町のスポーツ少年団(葛巻タイガース)を沖縄市に招待、交流試合や交流会を行う 境の沢地内道路整備資金として100万円寄付
昭和61年8月	町に対し一般寄付として35万円寄付
昭和61年9月	町の小中学校に図書寄贈
昭和63年4月	葛巻青少年育成記念像建立資金として600万円寄付
平成元年1月	葛巻中女子バレエ部が北中城村を訪問し、交流試合や交流会を行う
平成元年8月	上原さんの橋渡しにより北中城村との姉妹町村の盟約調印式
平成元年10月	葛巻町で北中城村との姉妹町村盟約締結を記念して祝賀会を開催 町の小中学校の図書館整備に向け150万円寄付
平成2年7月	葛巻町合併35周年記念特別表彰 青少年健全育成推進記念像(太陽の風景)完成 この年から偶数年度に北中城村から葛巻町へ、奇数年度に葛巻町から北中城村への訪問研修となる
平成7年7月	葛巻町合併40周年記念特別表彰
平成7年11月	上原清善青少年健全育成等基金として500万円寄付
平成10年12月	町へ健康、教育、平和づくり資金として30万円寄付
平成12年3月	葛巻育英奨学資金として100万円寄付
平成13年11月	町へ健康、教育、平和づくり資金として500万円寄付
平成17年7月	葛巻町合併50周年記念特別表彰
平成17年12月	海外や国内から贈られた感謝状・褒章が5,000枚を超える
平成18年1月	町に対し一般寄付として20万円寄付

その他にも図書など数々のご厚意をいただいております。

「人生で一番大事なことは恩返しである」という信条のもと当町の青少年健全育成などに多大なご貢献をされ、4月19日に亡くなられた沖縄県の篤志家・上原清善さん。同月21日の告別式には、町や議会を代表して觸澤義美副町長が参列し、上原さんに弔辞を捧げました。

南国・沖縄の上原さんと北国・葛巻のつながりは66年前の太平洋戦争において、戦友・向敷世智男さんが当町の名前を以て帰還されましたが、向敷さんはフィリピンで亡くなりました。

戦後、何度も上原さんはフィリピンに渡り、向敷さんの遺骨を収集され昭和52年5月、当町のご遺族のもとへ届けられました。以来、「戦死した友の霊を慰め、友の代わりに何かをしたい」と子どもたちへ黒糖や児童図書、社会福祉のために多くの金品をご寄付いただきました。さらに昭和60年、当町と沖縄との交流・研修を進めるため1000万円を寄せられ、当町ではこれをもとに「上原清善青少年健全育成等基金」を設立。この基金を活用しスポーツや小中学生の交流がスタートしました。

その後、平成元年8月、上原さんの橋渡しにより当町は沖縄県北中城村と姉妹町村盟約を締結。これまで150人の子どもたちが真夏の沖縄を体験、北中城村の子どもたちは冬に当町を訪れ、雪や寒さを体験、お互いに交流を深めています。来月7月は当町の中学生が沖縄を訪問し、友情の輪を広げる予定です。

上原さんは、当町はもとより、地元沖縄県をはじめ全国各地で学校・社会教育や社会福祉のため、奉仕活動一筋の人生を歩まれ、上原さんに贈られた感謝状は2005年に5000枚を超えました。



吉田整子さん (31歳・五日市)

五日市小6年のとき児童会長をしていて、北中城村を訪問する機会に恵まれました。飛行機に初めて乗ったことなど、初めてのことで、湿度が高くとにかく暑かったことが記憶に残っています。交流会で鳥袋小学校の2人と仲良くなって文通をしました。

今年1月、北中城村の中学生が葛巻町にやって来たとき、受け入れを手伝い雪を見て喜ぶ姿を見て私もうれしくなりました。この交流がずっと続いて欲しいと思います。

## 寄付でまちづくりを 応援してください!

町の約9割を占める山林。この豊かな森林を眠らせておくのは“もったいない”森林を守り育てていくことと新エネルギーの導入を進めて“くずまき”らしい持続可能な循環型林業を構築できないだろうか。このような発想から町は平成17年度にふるさとづくり基金を創設。全国から寄付金を募集し、22年度で合計金額は713万5千円に達しました。皆さんからいただいた寄付は、伐採した山林への再造林や公共施設へのベレットストーブの設置などに活用されています。自立の町を目指す“くずまき”を応援して下さる全国の皆さんと町民の皆さん、ふるさとづくり基金へのご協力をお願いします。(寄付の方法は、町のホームページをご覧になるか総務企画課(内線220)へお問い合わせください)

ご寄付ありがとうございます  
5年間で713万5千円に

### 寄付をいただいた方々からのメッセージ

■緑豊かな山は日本の宝です。森林育成の努力に感謝いたします。(大阪市・団体)

■日本のスイスとして、ますますのご発展を祈念いたします。(神奈川県・個人)

■情熱あふれる町長さんの町づくり施政方針に込め、さらに食の魅力発信、青少年の範たる活動と今や全国に誇れる葛巻町の躍進に心から敬意と乾杯!!(岩手県・個人)

### 寄付の状況 ●年度別

	18年度～21年度		22年度		合 計	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
森林の保全と資源循環に関する事業	2,825,000	135	255,000	13	3,080,000	148
新エネルギー導入に関する事業	1,455,000	78	20,000	3	1,475,000	81
指 定 な し	2,525,000	20	55,000	5	2,580,000	25
合 計	6,805,000	233	330,000	21	7,135,000	254
運 用 益	15,823	—	1,106	—	16,929	—
基金取り崩し	4,200,000	—	1,300,000	—	5,500,000	—
基金合計					1,651,929	

22年度は、寄付をいただきました財源を有効に活用するため、「森林の保全と資源循環に関する事業」で1,000,000円を伐採跡地への再造林事業の助成を実施するとともに、新エネルギー導入に関する事業で、町立小屋瀬小学校にベレットストーブ1基(300,000円)を設置(写真⑤)しました。

